



2020 年 11 月 17 日

MINI VISION URBANAUT

そこをあなたの空間にする

ミュンヘン発：

MINI ブランドは、#NEXTGen を用いて、空間のビジョンのまったく新たな解釈である MINI Vision Urbanaut を世界で初めて公開する。このデジタル・ビジョン・ビークルは、かつてないほどのインテリア空間と多用途性を提供しながらも、占有面積は最小限のみである。

「MINI ブランドは、常に『空間の巧妙な利用』を象徴してきました。私たちは、MINI Vision Urbanaut において、私的空間を公共領域にまで拡大し、まったく新しい充実した体験を生み出します」と、BMW グループ、デザイン部門統括責任者のエイドリアン・ファン・ホーイドンクは語る。

「ぐ、または完全に集中して働くことができます。Wanderlust は、MINI Vision Urbanaut が乗員の運転または自動運転機能によって走行している唯一の MINI モーメントです。Vibe モーメントは、他の人々との時間をあらゆる点で中心に据えます」と、MINI のデザイン責任者であるオリバー・ハイルマーは付け加える。

エクステリアとインテリアは、現在の MINI モーメントを反映するために変化し、体験に最高の舞台を提供する。包括的なユーザー体験デザイン、持続可能な素材、および純粋な電気駆動システムは、全体コンセプトの追加要素である。

インテリア・デザイン – 空間のより創造的な利用

MINI Vision Urbanaut は、革新的な空間コンセプトとして徹底的にデザインされた。デザイナーは、エクステリアを開発する前に、大きさの目安となるように間取り図、家具、さらには木製縮尺模型を用いて広々としたインテリア体験を創り出した。プロジェクトの中では、拡張現実を用いてデジタル・モデルが作成され、続いてそれが体系的に最適化された。MINI Vision Urbanaut は、MINI にとっては異例な背の高さでありながら、全長はわずか 4.46m であり、さまざまな方法で利用可能なインテリア空間を提供し、車内の移動をこれまでになく容易にする。

電気駆動システムと自動運転機能も、インテリアの新たな利用方法を生み出す

MINI Vision Urbanaut は、最初から自動運転機能付きの電気自動車として考案され、エクステリアとインテリアのいずれの開発においても、より大きな自由度をデザイナーにもたらした。

「1959 年、初代 Mini は、その横置きエンジンによって自動車の構造にちょっとし

た革命を起こしました」と、MINI のデザイン責任者であるオリバー・ハイルマーは回想する。「私たちは、MINI Vision Urbanaut において、車内の利用可能な表面積を占有面積との関連で見直し、さらに増やすことができました」。

1つの空間、多くの可能性

MINI Vision Urbanaut のインテリアは、旅行に出かけるための理想的な環境を提供するだけではなく、それ自体が旅行の目的にもなる。選んだ目的地に到着すると、MINI Vision Urbanaut は、ほんの数回の簡単な手順でリビングルームに変わることができる。乗員は、車体側面の大きなスライディング・ドアを通して革新的なキャビンに入る。最先端のスライド旋回機構は、空間が貴重な市街地走行条件に最適なデザインである。運転席側にも助手席側にも他のドアはない。

「デイベッド」と「ストリート・バルコニー」を備えるドライバーズ・エリア；リヤの「コジー・コーナー」

極めて柔軟な4シート・レイアウトは、明るいインテリアの基礎となる。2つのフロント・シートは、回転するようにデザインされている。一方、リヤのゆとりある大きさの座面では、バックレストを手動で折り畳んだり（左リヤ・シート）、向きを変えることができる（右リヤ・シート）。クルマが停止している時は、ダッシュボードが下がり、ドライバーズ・エリアが快適に腰掛けられる場所、すなわち「デイベッド」になる。それに加え、停車中にフロント・ウインドウを上を開き、一種のストリート・バルコニーを作ることができる。これにより、クルマの周囲とのやり取りが向上し、いっそう広々とした空間体験が生まれる。

キャビン後部のより暗い環境は、より静かな空間、すなわちコジー・コーナーを提供する。この場所は、乗員に自分だけの時間を楽しむように誘う。ファブリックで覆われた「ループ」がベンチ・シートの上に広がり、LED バックライトを点灯させることもできる。コジー・コーナーとドライバーズ・エリアの間には、解放的で広々とした車体中央部があり、このおかげですべての座席に素早くアクセスできる。ドアが開いていれば、フロアに座ることさえできる。入口ドアの反対側の車体側面には、植物を備えた小さなテーブルが組み込まれ、これによってインテリアの設備が完成する。このテーブルは、クルマの新しい中心点、すなわち乗員同士が出合い、顔を合わせ、関わり合う場所であることを示す。

ユーザー・インターフェースとインタラクション・デザイン – 「アナログ愛、デジタル接続」を指針として

直観的で控えめなユーザー・インターフェース・ソリューションは、スイッチやボタンといった従来の操作系を省くことを可能にする。これにより、完全な接続性を維持しながらミニマリストの心地良い空間体験が生まれる。物をできるだけ簡単に

使えるようにするという原則（「ナチュラル・インタラクション」）は、リヤ・ベンチ・シートの上のループに直接触れる操作オプションなどの「アナログ」触感体験によって強調される。丸型メーターは、活動の新しい中心地である車体中央に配置され、人々が出会う場所に情報をもたらす。

「MINI トークン」 - MINI モーメントのためのデジタル-アナログ・インターフェース
MINI トークンは、MINI Vision Urbanaut の体験世界の中核である。ウォーリー・ストーンとほぼ同じ大きさで、車体中央のテーブルにある専用設計のスロットに入られると、あらかじめ設定されている 3 種類の MINI モーメント（Chill、Wanderlust、Vibe）を起動する。さらに、「マイ MINI モーメント」など、その他の MINI モーメントも考えられる。ここでは、個人に特化した別の体験を提供するように MINI トークンをプログラムすることができる。その中でユーザーは、香り、アンビエント・ライト、音楽などについて自分の好きなシナリオを設定し、後からそれを直接呼び出すことができる。

エクステリア・デザイン – ブランドの精神を新たな形で

MINI Vision Urbanaut の純粹主義的なモノ・ボリューム・デザインは、「空間の創造的な利用」というアプローチに新たな意味を与える。平滑でほぼ継ぎ目のない表面は、基本となるモダンな雰囲気を出し、高品質なディテールは、考え抜かれた華やかさを添える。特徴的な MINI の流儀に従い、ホイールはボディの四隅に配置され、ショート・オーバーハングがコンパクトで俊敏な外観を完成させる。

新しい MIN フロント・マスク

MINI Vision Urbanaut のフロント・エンドは、2 つの由緒ある MINI デザイン・アイコン、すなわちヘッドライトとラジエター・グリルの明確な進化を示している。細長い開口部を持つフライス加工されたアルミニウム製構造物の下に配置されるヘッドライトは、点灯している時だけ見える。マルチカラー・ダイナミック・マトリクス・デザインのおかげで、さまざまな色のグラフィックスを表示することができ、それによってクルマと外界との間に、各モーメントに応じた新たな形のコミュニケーションが生み出される。MINI Vision Urbanaut のライトは、すべての MINI に特有の魅力的な顔つきのフロント・「グリル」を完全なものにする。縁どられたグリル自体は、今や八角形となり、伝統的な六角形の進化を示している。MINI Vision Urbanaut は、冷却風を必要とする内燃エンジンを搭載しないので、グリルは、新たな役目を引き受けることになり、自動運転のためのインテリジェンス・パネルとして機能する。

ヘッドライトと同様に、フライス加工されたアルミニウム製カバーの奥にあるマルチカラー・ダイナミック・マトリクス・リヤ・ライトは、新鮮な美しさをもたらし、

さまざまな走行モードと MINI モーメントにおいて異なる表情を示す。さらに詳しく調べてみると、特色のある凸面は、今までの MINI とクラシック Mini にも敬意を表している。細部についても、たとえばリヤ・ウインドウの輪郭は、フロント・グリルの形状を参照しており、クルマのスタイルの一貫性を強調している。

エクステリアの明確な形状は、クルマのカラー、素材、およびディテールに完璧な舞台を提供する。艶消しのエクステリア・カラーであるゼロ・グラビティは、ブルー・フリップ効果のあるメタリック・グリーンから繊細な色調のグレーへと変化する。ウインドウは、下から上にかけて連続的に薄くなるボディ・カラー同色のパターンを示す。これが、車体からウインドウとルーフへ至る調和のとれた変化を生み出す。そのパターンのおかげで、ウインドウを暗くしなくても一定のプライバシーが保たれ、インテリアは明るいままである。

照明付きのスケートボード・ホイールが見た目の華やかさを演出

横から見た時の MINI Vision Urbanaut の視覚的なハイライトは、砂浜と海の音を連想させるターコイズ・ブルー・カラーのオーシャン・ウェーブで仕上げられたホイールである。ホイールの抽象化されたユニオン・ジャックの輪郭は、このクルマがイギリスの遺産であることを表し、一方、その形状は、スケートボードを思い起こさせる。これによって、クルマの俊敏さと型にはまらない MINI ツイストをいっそう際立たせる。このホイールは、クルマが周囲とやり取りをする別の方法も示している。透明で内側から照らされるその外観は、選択された MINI モーメントに従って変化する。

MINI チャーム - 触れて分かる愛らしさ

運転席側 C ピラーの露出部に飾られているのが、「チャーム」である。これらは、旅した場所、祭り、またはその他の出来事をピンやステッカーの形で思い起こさせ、ディスプレイ・キャビネットの中にあるかのようにガラスの奥のグラフィック・コレクターズ・アイテムとして示す。MINI チャームは、放浪癖の表現でもあり、かつてキャンパー・バンに張られたステッカーやウォーキング・ポールに付けられたバッジのように、オーナーが MINI Vision Urbanaut で過去に体験したことを示す。1 つのチャームは、MINI Vision Urbanaut がワールド・プレミアを祝う #Next Gen プラットフォーム専用である。もう 1 つのチャームには QR コードが付けられ、読み取ると MINI.com に移動する。このように、クルマのエクステリアにおいても、アナログとデジタルの世界が共存している。

インテリアとエクステリアにおいて MINI モーメントを表現

テーブルのスロットに MINI トークンを差し込んで 3 つの MINI モーメントの 1 つを起動すると、そのことが、フロントとリヤのボディ表面とホイール・リムを通じて

クルマの外に伝えられる。インテリアでは、シート、ダッシュボード／デイベッドの形状、バックレストの位置を含む全体のレイアウトを、選択された MINI モーメントに従って手動で調整することができる。さらに丸型メーター・ディスプレイも変化する。香り、音、およびアンビエント・ライトは、選択された MINI モーメントによって起動されたベースライン・ムードを引き続き豊かにする。

MINI モーメント Chill - 都会の喧騒の中のオアシス

MINI モーメント Chill では、MINI Vision Urbanaut が秘密の隠れ家、都会のオアシスになる。リヤ・ベンチ・シート（コジー・コーナー）が、さまざまな姿勢で座ったり横になったりすることを誘う一方で、頭上のバックライトで照らされたループは、緑の樹幹を思わせる外観になる。この照明は暗くすることもできる。さらに、環境音楽と自然の雰囲気を出す音がそこに加えられる。中央部では、丸型メーターが折り畳まれてテーブル・ランプになり、クルマの周囲のことを思い起こさせるかもしれないディスプレイやスイッチが消される。クルマの外から見ると、ヘッドライト、リヤ・ライト、およびホイールまわりが樹幹を抽象的に表現し、それによって MINI moment Chill であることが分かる。

MINI モーメント Wanderlust - 一緒に旅をする喜び

Wanderlust は、3 つの MINI モーメントの中で MINI Vision Urbanaut が実際に移動している唯一のモーメントである。このモーメントでは、インテリアがクルマを乗員の運転または自動運転で走らせるのに最適な場所になり、旅のロマンスを再発見することを可能にする。中央の丸型メーターのユーザー・インターフェースは、1950～60 年代の観光ポスターから着想を得た旅の世界を反映する見た目に変わる。ルートのアニメーションと一緒に、観光名所や到着時刻といった追加の旅行情報が、乗員のためにここに表示される。リヤ・ベンチ・シートの上のループは、ぼやけて見える過ぎゆく景色をオレンジとターコイズの混ざった色でシミュレートすることによって移動感を視覚化する。乗員が自ら運転したい場合は、MINI ロゴを指でタップすることで、ステアリング・ホイールとペダルが引き出される。ダッシュボード内のミニマリストの 3D ディスプレイは、ルート案内や危険に対する警告を提供する。ダッシュボードには、その他の走行関連のディスプレイはない。自動運転モードを作動させると、ステアリング・ホイールとペダルが引き込まれ、ダッシュボードからドライビング・ディスプレイが消える。クルマのエクステリアでは、フロント・エンドとリヤ・エンドの LED マトリクス・サーフェスのライト・グラフィックスが、自動運転モードが作動しているのか、乗員が自ら運転しているのかを示す。

MINI モーメント Vibe - コミュニティを祝福し、モーメントを共有する

MINI モーメント Vibe では、MINI Vision Urbanaut が人々と周囲に対して開放され、連帯感と相互作用の体験をもたらす。サイド・ドアを開き、フロント・ウィンドウ

を折り畳むことで歓迎の場が生まれ、外側と内側の境界をぼやけさせる。ターコイズのハイライトを含むマゼンタとブラックの色世界の中で、MINI Vision Urbanaut は、出会いの中心地を提供する。そこは、静かにすることも騒がしくすることもできる。中央の丸型メーターは、メディア・コントロール・センターになる。音楽に合わせて動くグラフィック・イコライザーのアニメーションが、フロント、リヤ、ホイール、およびリヤ・ベンチ・シートの上のループの表面に投影され、楽しいクラブの雰囲気を生み出す。好みに応じて、クルマをラジカセのように見せることもできる。

MINI Vision Urbanaut と接続されたデジタル・サービス

MINI Vision Urbanaut のコンセプトには、クルマの利用を充実した途切れのない体験にするようデザインされたサービスが含まれる。たとえば、スマート・デバイスを使って MINI Vision Urbanaut を開くことができる。すなわち、未来のモビリティの選択肢としての立場に沿って、特定の家族や友人の誰でも MINI Vision Urbanaut を利用することができる。Wanderlust モーメントで旅行している最中に、ルートとモーメントにふさわしいプレイリスト、オーディオ・ブック、またはポッドキャストを見つけることができる。個人向けの旅行プランナーが、個々の利用者に合わせたヒントや観光名所（POI）、さらには MINI コミュニティからのお勧めを表示する。これらは、要望に応じて提案し、選択することができる。

持続可能な素材と責任ある考え方

MINI Vision Urbanaut は、資源の責任ある利用を特徴とする。MINI Vision Urbanaut は、小さな占有面積の中での最大限の空間利用と完全電気駆動システムに加えて、素材への責任あるアプローチに全力で取り組んでいる。これを達成するには、エクステリアとインテリアのデザインにおけるコンポーネント数の削減だけではなく、ダッシュボード／デイベッドのような二重機能の実現も必要である。これは、リサイクル材の利用に加え、デザインにクロームとレザーを含まないようにすることも意味する。これは、リサイクル材の利用と共に、クロームとレザーを使わないことも意味する。インテリアで最も多く使われている素材は、心地良さと品質に柔らかさと快適性を兼ね備えるファブリックである。ステアリング・ホイールとフロア各部にコルクを使用することで、その自然な風合いによる特別な感触が加わり、本当に快適なインテリアの雰囲気が実現する。

本件に関する読者および視聴者からのお問い合わせ先:

MINI カスタマー・インタラクション・センター

フリーダイヤル 0120-3298-14

受付時間: 平日 9:00-19:00、土日祝 9:00-18:00

MINI ウェブサイト: <http://www.mini.jp>